

新生糸検査方法施行後の検査状況

一改正生糸検査格付方法と

改正後の成績について一

横浜生糸検査所 検査第二部長 小 松 四 郎

I 改正の主要点

1. ケース造りの新設

従来は検査の対象となる荷口は 60 kg を標準とした俵造りのもの 10 俵以内（国用生糸の場合は、俵造りのほか、37.5 kg を標準としたこり造りのもの 16 こり以内）であつたが、包装形態の変化に対応できるように、新たに 30 kg を標準としたケース造りを新設した。この場合、受検の一荷口の最高限度は 20 ケースである。

2. 総荷検査の合理化

現行総荷検査のうち、整理検査の欠点項目の一部を新設の再繰整理検査に移し、荷揃検査と残った整理検査を一本化して総荷整理検査とした。

荷揃いについては限度を緩和し、整理欠点項目を整理し、性状検査は簡略化した。

3. 再繰切断検査の合理化

従来は、かせの最表層の切断は予備再繰を行なつていたので成績にはいつていない。しかし消費者は直接かせの外側から繰返しして使用しており消費実態との間に相違があつた。

今回の改正では、かせの表から再繰する場合は、予備再繰を廃止し、その時間を再繰検査時間に組入れた。

4. 再繰整理検査の新設

再繰能率は、かせの扱いやすさに左右され、かせの扱いやすさは、かせの仕上および整理の良否に依存する。この検査では、検査料糸に存在する再繰整理欠点が再繰作業に与える支障の種類および程度をしらべる。

検査成績は、支障の種類および程度別に 1 個ごとに定められた失点を乗じ、失点の合計によつて、上、中または下で表示する。

5. 糸条はん検査を糸むら検査に改正

現行の糸条はん検査は、むらの変化の程度、幅および数を総合して採点していたが、それらが相互に平均化されてしまつていた。しかし、変化程度の等しい糸むらは、その幅のいかんにかかわらず製織、製品の質に及ぼす影響は等しいとの観点から、糸むらの変化程度別に糸むら一類、糸むら二類および糸むら三類の 3 区分にわけて、区分別に糸むらの数を表示するようにし、名称も糸むら検査と改めた。

6. 格付表の改訂

現行の格付表は、糸条はん中心のものであり、糸条はん平均ならびに糸条はん劣等によつて格が決定する割合が非常に多く、最近の生糸需要の実態に合致していない。これに合致させるため能率に関係する項目たとえば、織度偏差、織度最大偏差、大中節、再繰などのウェイトを重くす

る方向で格付表を改訂した。

7. 格の数の減少

従来の格等級は8格ないし10格であり、格付表の刻み方が細分化され過ぎていて、かえって安定性に欠けるうらみがあつたので、これを整理して格の数を5格に改め、4A, 3A, 2A, AおよびB格とした。

8. 目的織度の許容範囲の改訂

目的織度と平均織度との不一致が大幅になる傾向が強いので、これを改めて目的織度の許容範囲を現行 $\pm 7\%$ を $\pm 5\%$ に縮少した。

9. 封印の再施行の申請をすることができる場合の拡大

封印の再施行の申請ができる場合として、新たに俵またはケースを分割しようとする場合およびとり出した生糸を同一荷口内の他の俵またはケースにそう入しようとする場合を加えた。

10. 検定証の様式の改正

検査請求書よりの転記欄を新設して、原料繭生産年、蚕期、かせ括仕上、商標、生産工場名などを転記するようにした。

検査料系数、検査織度欄をもうけた。

成績内容の配列を全面的に改めた。

11. 特別抄本の発行

荷口を分割して売買する場合の便宜を図るため、個々の俵に貼付する特別抄本を請求により発行することにした。

なお、特別抄本には、各俵について糸格、平均織度およびその俵の正量を記載する。

12. 国用生糸検査の改正

現行は、最高が優等格であり、輸出検査のA格に相当していたが、今回の改正では輸出検査と同等にした。

ただし、強力、伸度および抱合検査は行なわず、格の名称は、4a, 3a, 2a, aおよびb格である。

13. 国用生糸検査小荷口の特例の拡大

従来1こり単位であつた小荷口の特例（丙検査と称していたもの）を、5こり、3俵または6ケース以下の荷口にも適用を拡大した。

従来の乙検査は廃止した。

Ⅱ 格 付 表

第 1 表 輸 出 生 糸 格 付 表

(目的繊度 18 デニール以下の場合)

項 目 \ 格	4	A	3	A	2	A	A	B
目的繊度 (デニール)	以下		以下		以下		以下	超過
織 度 偏 差 (デニール)	12 以下	0.80	"	0.95	"	1.10	1.35	1.35
	13 ~ 15	0.90	"	1.05	"	1.25	1.50	1.50
	16 ~ 18	1.00	"	1.20	"	1.40	1.70	1.70
糸 む ら 一 類 (個)	150	以下	170	以下	190	以下	210	210 超過
糸 む ら 二 類 (個)	10	"	17	"	26	"	37	37 "
大 中 節 (点)	97	以上	95	以上	93	以上	88	88 未満
小 節 平 均 (点)	94	"	92	"	90	"	87	87 "
小 節 劣 等 (点)	90	"	87	"	83	"	77	77 "
項 目 \ 階 級	(1)		(2)		(3)		(4)	(5)
目的繊度 (デニール)	以下		以下		以下		以下	超過
織 度 最 大 偏 差 (デニール)	12 以下	2.2	"	2.6	"	3.0	3.6	3.6
	13 ~ 15	2.4	"	2.8	"	3.3	4.1	4.1
	16 ~ 18	2.7	"	3.2	"	3.8	4.6	4.6
糸 む ら 三 類 (個)	0		1		2		6 以下	6 超過
項 目 \ 階 級	(1)		(2)		(3)		(4)	
目的繊度 (デニール)	以下		以下		以下		以下	超過
再繰切断(回)	12 以下	7	"	15	"	25	25	25
	13 ~ 18	5	"	12	"	21	21	21
項 目 \ 階 級			(1)				(2)	
強 力 (g)			以上		3.7		3.7	3.7 未満
伸 度 (%)			18		"		18	18 "
抱 合 (回)			40		"		40	40 "

第2表 輸出生糸格付表

(目的織度 19 デニール以上 33 デニール以下の場合)

項 目	格	4	A	3	A	2	A	A	B
目的織度 (デニール)		以下		以下		以下		以下	
織 度 偏 差 (デニール)	19 ~ 22	1.15	"	1.35	"	1.60	"	1.95	1.95 超過
	23 ~ 25	1.30	"	1.50	"	1.80	"	2.20	2.20 "
	26 ~ 29	1.40	"	1.65	"	1.95	"	2.35	2.35 "
	30 ~ 33	1.50	"	1.75	"	2.05	"	2.50	2.50 "
糸 む ら 一 類 (個)		150 以下		170 以下		190 以下		210 以下	
糸 む ら 二 類 (個)		10 "		17 "		26 "		37 "	
大 中 節 (点)		97 以上		95 以上		93 以上		88 以上	
小 節 平 均 (点)		94 "		92 "		90 "		87 "	
小 節 劣 等 (点)		90 "		87 "		83 "		77 "	
項 目	階 級	(1)		(2)		(3)		(4)	(5)
目的織度 (デニール)		以下		以下		以下		以下	
織 度 最 大 偏 差 (デニール)	19 ~ 22	3.1	"	3.6	"	4.3	"	5.3	5.3 超過
	23 ~ 25	3.5	"	4.1	"	4.9	"	5.9	5.9 "
	26 ~ 29	3.8	"	4.5	"	5.3	"	6.3	6.3 "
	30 ~ 33	4.0	"	4.7	"	5.5	"	6.8	6.8 "
糸 む ら 三 類 (個)		0		1		2		6 以下	
再 繰 切 断 (回)		4 以下		10 以下		18 以下		18 超過	
項 目	階 級	(1)		(2)		(3)		(4)	
強 力 (g)				3.7 以上				3.7 未満	
伸 度 (%)				18 "				18 "	
抱 合 (回)				60 "				60 "	

第 3 表 輸 出 生 糸 格 付 表

(目的織度 34 デニール以上の場合)

項 目	格	4	A	3	A	2	A	A	B		
目的織度 (デニール)		以下		以下		以下		以下		超過	
織 度 偏 差 (デニール)	34 ~ 49	2.60	〃	3.10	〃	3.65	〃	4.45	〃	4.45	
	50 ~ 69	3.75	〃	4.40	〃	5.20	〃	6.35	〃	6.35	
	70 以上	4.45	〃	5.25	〃	6.20	〃	7.60	〃	7.60	
目的織度 (デニール)		以下		以下		以下		以下		超過	
織 度 最 大 偏 (デニール)	34 ~ 49	8.0	〃	9.5	〃	11.0	〃	13.5	〃	13.5	
	50 ~ 69	11.0	〃	13.0	〃	15.5	〃	19.0	〃	19.0	
	70 以上	13.5	〃	16.0	〃	18.5	〃	23.0	〃	23.0	
糸 む ら 一 類 (個)		150 以下		170 以下		190 以下		210 以下		210 超過	
糸 む ら 二 類 (個)		10 〃		17 〃		26 〃		37 〃		37 〃	
大 中 節 (点)		97 以上		95 以上		93 以上		88 以上		88 未滿	
小 節 平 均 (点)		94 〃		92 〃		90 〃		87 〃		87 〃	
小 節 劣 等 (点)		90 〃		87 〃		83 〃		77 〃		77 〃	
項 目	階 級	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)	
糸 む ら 三 類 (個)		0		1		2		6 以下		6 超過	
項 目	階 級	(1)		(2)				(3)		(4)	
目的織度 (デニール)		以下		以下				以下		超過	
再繰切断(回)	34 ~ 69	1		6				13		13	
	70 以上	0	〃	4				10		10	
項 目	階 級	(1)									(2)
強 力 (g)		3.7 以上									3.7 未滿
伸 度 (%)		18 〃									18 〃

第1図 現行格、改正格の限度比較図 (21中)

項目	現行格	6A	5A	4A	3A	2A	A	B	C	D	E
織度偏差		1.15		1.35	1.60		1.25				
大 中 節		97	95	93			88				
小節平均		94		92	90		87				
小節劣等		90		87	83		77				
最大偏差		3.1	3.6	4.3			5.3				
再 繰		10					18				

Ⅲ 現行格と改正格との比較

横浜および神戸生糸検査所に受検した荷口の中から21中 500 荷口を抽出して比較試験を行なった。

1. 現行格と改正格との相関

第4表 現行格と改正格との相関表

現 改	新4A	新3A	新2A	新A	新B	計
4 A	5	9				14
3 A	5	89	70	6		170
2 A	1	29	109	62		201
A			5	64	1	70
B				18	5	23
C					14	14
D					7	7
E					1	1
計	11	127	184	150	28	500

現行格 平均 2A. 01

改正格 平均 A. 89

2. 格決定項目別荷口数

第5表 格決定項目別荷口数

項 目	現 行 荷口数	%	改 正 荷口数	%
織 度 偏 差	48	6.5	168	22.8
糸条はん平均	321	43.5		
糸条はん劣等	152	20.6		
糸むら一類			56	7.6
糸むら二類			89	12.1
大 中 節	27	3.7	117	15.9
小 節 平 均	17	2.3	28	3.8
小 節 劣 等	47	6.4	63	8.5
織度最大偏差	117	15.8	118	16.0
糸むら三類			73	9.9
再 繰	7	0.9	23	3.1
伸 度	2	0.3	2	0.3
合 計	738	100.0	737	100.0